

新しいメディアと演劇



【第 28 回 AICT 演劇評論賞受賞】

大崎さやの 著『啓蒙期イタリアの演劇改革—ゴルドーニの場合』

村島彩加 著『舞台の面影—演劇写真と役者、写真師』

大崎さやの著『啓蒙期イタリアの演劇改革—ゴルドーニの場合』は、イタリアの劇作家ゴルドーニの作品の劇評を通して、彼の演劇改革の実態を浮き彫りにする著作である。ゴルドーニが活躍した 18 世紀、西洋では新聞・雑誌といったジャーナリズムが勃興し、批評文化が花開いていった。

一方、村島彩加著『舞台の面影—演劇写真と役者、写真師』は、明治時代に新たに登場した写真というメディアと歌舞伎の関係を、團十郎や菊五郎といった歌舞伎役者や、彼らを撮影した写真師を中心に、出版や絵画、アーカイブ等の周辺文化と共に多面的に描き出すものである。

両著作はイタリア演劇と歌舞伎と形式は異なるものの、一方はジャーナリズム、一方は写真と、どちらも当時新たに登場したメディアを通して演劇を扱っている。シンポジウムでは、この新しいメディアと演劇の関係を、参加者のみなさんと共に考えてみたい。

また、両者に共通する関心として、観相学の演技への影響や演技の「型」についてなど、演技に関するいくつかのトピックが挙げられる。共通する問題点、関心を持つ二人が互いの著作を通して語り合うことで、各著書単独では見えてこないものを浮彫にし、参加者のみなさんの新たな発見・関心につながれば幸いである。

【パネリスト】



大崎さやの (おおさき・さやの)

イタリア演劇・文学研究。博士(文学、東京大学)。現在、東京藝術大学等にて非常勤講師。著書に『啓蒙思想の百科事典』(共編著、丸善出版)、『啓蒙期イタリアの演劇改革—ゴルドーニの場合』(第 28 回 AICT 演劇評論賞・第 55 回河竹賞奨励賞受賞、東京藝術大学出版会)、『演劇と音楽』(共著、森話社)、『ベスト・プレイズ II—西洋古典戯曲 13 選』(共訳著、論創社)、『西洋演劇論アンソロジー』(共訳著、月曜社)、『イタリアのオペラと歌曲を知る 12 章』(共著、東京堂出版)、『オペラ学の地平』(共著、彩流社)、『アルフィエリ 自伝』(共訳、人文書院)、他。



村島彩加 (むらしま・あやか)

研究分野は近代日本演劇(特に歌舞伎の近代化、演劇写真、宝塚歌劇)。博士(文学、明治大学)。近著に『舞台の面影—演劇写真と役者、写真師』(森話社。第 44 回サントリー学芸賞、第 28 回 AICT 演劇評論賞)、共著に『演劇とメディアの 20 世紀』、『演劇と音楽』、『興行とパトロン』(以上、森話社)ほか。論考に「ミュージカル『PUCK』をめぐる 小池修一郎試論(2)」(『パラゴネ』第 7 号 青山学院大学比較芸術学会)など。



井上 優 (いのうえ・まさる)

明治大学文学部教授。演劇理論、西洋演劇史研究。近年は岩田豊雄の業績の再評価などを研究している。明治大学のシェイクスピア上演(明治大学シェイクスピア・プロジェクト)をコーディネーターとして統括・指導。国際演劇評論家協会日本センター会員。日本演劇学会理事。主要著作として『演劇の課題 II』(共著、三恵社、2015 年)、最近の論文に「岩田豊雄「演劇皆無に對する感想」(一九三三)を読む」(2020 年)、「岩田豊雄の中のシェイクスピア—1955 年 福田恆存演出『ハムレット』成立の一背景」(2020 年)。



山下純照 (やました・よしてる)

成城大学文芸学部教授。演劇美学者。近現代戯曲の「語り」と演じる部分の関係性に基づき、時間軸が往還するタイプの作品(日本語、英語、ドイツ語圏)を研究。論文リストは researchmap→Yamashita Yoshiteru を参照。翻訳にフィッシャー=リヒテ『演劇学へのいざない』(共訳、2013 年)、編著に『西洋演劇論アンソロジー』(西洋比較演劇研究会と共編、2019 年)がある。

2023年 7月30日(日) 17~19時

*16:30~ 第 28 回 AICT 演劇評論賞 および
第 27 回シアターアーツ賞 授賞式

会場：座・高円寺 けいこ場(地下 3 階)

参加費：500 円(会員・学生=無料) *当日清算

予約・問合せ：aictjapan@gmail.com

*予約優先。予約フォームはこちらの QR コードから →
メールの場合は、件名に「7 月講座」とご記入の上、
お名前・人数・日中のご連絡先 TEL を明記してください。主催：国際演劇評論家協会[AICT]日本センター <http://aict-iatc.jp/>
NPO 法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺

国際演劇評論家協会(AICT)日本センターでは、演劇・ダンス等の優れた批評を顕揚し、その発展を図るために、1995 年より毎年、その年に刊行された演劇・ダンス等の舞台に関する評論書を対象にした AICT 演劇評論賞を設けています。